

令和6年度庁議報告事項

第23回庁議（2025年3月4日）

地域支えあい推進部地域活動推進課

【件名】

鍋横区民活動センター等整備基本設計説明会の実施結果について

【要旨】

鍋横区民活動センター等整備基本設計説明会の実施結果について、以下のとおり報告する。

1 開催日時及び会場、参加人数

	日 時	会 場	参加人数
第1回	令和7年1月24日（金） 午後7時～同8時30分	鍋横区民活動センター 洋室	11人
第2回	令和7年1月25日（土） 午後2時～同3時30分		11人

※警視庁及び中野警察署担当者が両日とも出席。

2 説明会で寄せられた主な質問・意見及び区の考え方
別紙のとおり

3 今後の予定

令和7年度 実施設計

令和8年度 解体・建築工事（～10年）

令和10年度 開設

説明会で寄せられた主な質問・意見及び区の考え方

	質問・意見	区の考え方
1	解体工事を行うこととなっているが、現在の鍋横区民活動センターを解体していくということか。	解体工事は、整備予定地にある鍋横区民センター分室を指している。現在の鍋横区民活動センターを解体する予定はない。
2	1階の平面図の中に防災倉庫があるが、広さはどれくらいか。	15.31㎡である。
3	新しい施設に併設される交番は、鍋横通りに面して向かって右側に作られるのか。	鍋横通りを背にして、建物の1階右端に設置される。
4	新しい施設については、1階ホールの鍋横通り側の前面の面積を広くとってもらいたい。	1階ホール前面はピロティとして、オープンなスペースとなる。例えば、お祭りの際にホールに面した前面の開口部を開き、1階ホール・ピロティ・鍋横通りを一体的に使用することも想定している。
5	地下1階多目的ホールの広さを分かりやすく教えてほしい。	学校で例えると教室の二つ半ぐらいの広さである。約200㎡なので、テニスコート1面ぐらいの広さとなる。
6	地下1階の多目的ホールは、卓球をしたり、軽い運動を行うことになるので、床は滑らないような床にしてほしい。	軽スポーツ等を行っても滑りにくい床を検討していく。
7	2階は地域包括支援センター事務室となっているが、今の鍋横区民活動センターには入っていない。どのようになるのか。	現在、本町5丁目に地域包括支援センターがあるが、今回の整備を機に移転することとなる。
8	現在の鍋横区民活動センターには、区民の広場という予約のいらないスペースがあるが、新しい施設だとどこがそれにあたるのか。	1階ホールはかなり広いスペースが取れるので、ホールの一角にカフェコーナー設けるなど、来所者が自由にくつろげるスペースを設ける予定である。
9	本郷小学校の改築も予定されていると思うが、こちらの工事も始まると大きな重機が鍋横通りなどにたくさん通ることになるのではないか。鍋横通り付近は子どもたちが多いため、子どもたちの危険がないような配慮はされるのか。	本郷小学校の工事は来年度4月以降に入ってからで、工事車両は小学校の南側通りがメインで、中野新橋通りから入り中野通りに出ていく想定である。

10	鍋横通りは商店街なので、子どもだけでなく、お年寄りも通る。工事車両について、どのような配慮を考えているのか。	工事の際は、警備員を配置し安全に配慮する。工事の状況などに応じて警備員の人数は今後検討する。
11	以前、隣地のビルの工事の際に家が揺れて、壁にひびが入り、トイレ水漏れが発生し大変だった。今度の計画地の工事でも斜め前なので、同じようなことがおきるのではないかと。今度の計画地の工事の対策については、どのように考えているのか。	現在の分室の解体は、木造なのでマンションとは異なり、振動は少ないと考えている。工事着手前及び工事終了後には、家屋調査を実施し、不具合があれば補償を行う。工事にあたり、騒音や振動がまったく出ないということはない。今後実施する工事説明会にて、詳細な工事内容を説明していく。
12	自転車駐車場のボリュームはどのようになるのか。	現在の自転車駐車場は250台を収容可としている。新しい自転車駐車場は249台となり、現在と同程度のボリュームとなる。面積としては小さくなるが、ラックなどを使って台数を確保していく。
13	高齢者集会室の畳となっている和室のコーナーはどのような使い方なのか、いまと違いがあるのか教えてほしい。	平日の昼間などは、高齢者の方々に個人的な使用(囲碁や将棋等)をしてもらい、それ以外の時間に一般の集会室として団体の貸し出しを行うこととなる。
14	地域活動室は、主に運営委員会や町会の打ち合わせに使うとなっているが、一般の利用はできないのか。オープンな地域活動としての利用が出来るようにはならないのか。	オープンスペースは、1階のホールとなっている。地域活動室の利用については、今後、運営委員会と運営方法を検討していく。
15	避難所機能もあるとのことだが、収容人数はどれくらいを想定しているのか。	区民活動センターは、小災害(風水害)時の一時的な避難所となるため、30名程度の収容を想定している。
16	現在の鍋横区民活動センターの跡地利用は、どのような予定となっているのか。	中野区有施設整備計画では、児童福祉施設、介護・障害福祉施設の二ーズを踏まえ、民間施設の誘致を検討する、としている。中野区有施設整備計画は7年度に計画改定を予定しており、計画改定にあたっては、区民の方々の意見を聞かせていただき、最終的な方向性を決めていくこととしたい。
17	交番に警官は何人配置されるのか。	現在、青梅街道にある交番は3名が定数となっている。変わらず3名の想定としている。(警視庁回答)

18	現在の交番は、青梅街道にパトカーが駐車しているが、新しい施設ではパトカーの駐車はどうか。	休憩のために常時駐車することは想定していない。高齢者を保護したりするために、ピロティに一時的に停めることはある。また西側の駐車スペースに停めるか、中野警察署に停めることとなる。(警視庁回答)
19	交番が入ることについて、最初は納得できなかったが、他の人の意見では、安心できる、という声がある。パトカーが鍋横通りに路上駐車することや、警察官が施設入口に立っていることで、若い人が施設に入りにくい等はないのか。	警察官が入口に立つことで入りにくいなどの意見もあるが、安心するという意見もある。様々な感じ方があるので、今後警察官の勤務形態については検討していく。パトカーについては、鍋横通りは交通量も多く、バスも通るため、警察官の休憩のためのパトカーの路上駐車は行わない。ただし、例えば認知症の方の保護移送などで警察署へ移送するときや、大きな落とし物等の運搬はパトカーを利用するため、一時的な駐車にはご理解を頂きたい。(警視庁回答)
20	新しい施設の開設までのスケジュールを確認したい。	令和7年度に実施設計、令和8年度から解体・建築工事、令和10年度に開設予定となっている。